

## 平成30年度 第2回糸島市教育委員会会議録

(日 時) 平成30年5月24日(木) 13時30分から14時25分まで

(場 所) 糸島市前原西1-1-1 糸島市役所本館3階会議室

(出席委員) 徳田 敬委員(職務代理者)、西 憲一郎委員  
松尾 実恵委員、宗 聖子委員

(事務局出席者) 家宇治 正幸教育長  
泊 早苗教育部長、宗 真司教育総務課長、田中 健悟学校教育課長、中庭 昭宣生涯学習課課長補佐、岡部 裕俊文化課長、角 浩行文化課企画監兼博物館館長、原尾 宏志学校教育課指導係長兼指導主事、東定 荘士郎学校教育課主幹兼指導主事、高田 和宏教育総務課課長補佐兼総務係長

(傍聴人) なし

### 1 会議事項

(1) 会議録署名委員の指名

(2) 会議録の承認

(3) 福岡教育事務所管内教育長会の報告

(4) 議事 なし

(5) 協議事項

- ・平成29年度糸島市教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)について

(6) その他

- ・中学校英語教育の進捗状況について
- ・教職員に対する指導上の措置の実施について
- ・教職員の働き方改革取組指針について
- ・各課業務の主な取組状況と課題について
- ・教育委員から
- ・その他

### 2 開 会

委員会開会を宣告 13時30分

定足数に達し、会議が成立している旨の委員長による報告

3 会議録署名委員の指名

(家宇治教育長)

会議録署名委員については、徳田 敬委員を指名する。

4 会議録の承認

(家宇治教育長)

平成30年度第1回教育委員会会議録の承認を求める。

質問、意見があればお願いします。如何か。

(西委員)

会議録P4中 2段落から3段落目

正	誤
<p>人権課題への対策として小中学校の義務教育期間9年間を通した意図的、計画的な指導を行うため、これまで、教員向け <b>人権教育の手引きとして ～ 「ガイジ」発言への対応と指導～</b> を平成26年度に発行していましたが、この度、手引き 2 ～子どものSNS等のICTに関わる人権課題～、手引き 3 ～性的マイノリティに関する人権課題～ として発刊しました。</p> <p>児童生徒のいじめや不登校の原因にも繋がりがねない重大な人権課題であり、学校における対応が早急に求められており、これに対応するため作成したものです。活用方法としては、本年度は各学校において試行的に実践し、来年度以降、各学校の実態に応じた教育課程に位置づけ全学校で行う予定としています。</p>	<p>人権課題への対策として小中学校の義務教育期間9年間を通した意図的、計画的な指導を行うため、これまで、教員向け 以下(欠落) ……</p> <p>平成26年度に発行していましたが、この度、手引き 2 ～子どものSNS等のICTに関わる人権課題～、手引き 3 ～性的マイノリティに関する人権課題～ として発刊しました。</p> <p>児童生徒のいじめや不登校の原因にも繋がりがねない重大な人権課題であり、学校における対応が早急に求められており、これに対応するため作成したものです。活用方法としては、本年度は各学校において試行的に実践し、来年度以降、各学校の実態に応じた教育課程に位置づけ全学校で行う予定としています。</p>

(家宇治教育長)

ご指摘の部分は文言を一部修正させます。ほかにありませんか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

それでは、文言を一部修正したうえで会議録の承認について、異議のない委員の挙手を求めます。

(委員全員)

挙手。

(家宇治教育長)

挙手全員であり、本会議録については、一部文言修正し承認されました。  
宗委員は後ほど、会議録に署名をお願いします。

教育長あいさつ

(家宇治教育長)

以下の4点についてあいさつが行われる。

- ① 新潟における幼児殺害という痛ましい事件が発生している中、本市では不審者情報 28年度が21件、29年度が32件寄せられている。件数が増加している。警察でも通学路等を確認しながら制服警官が巡回を行っている。
- ② 教職員の交通事故が多い。校長会において注意喚起を行った。
- ③ SNSを通じた問題行動が少しずつ増えてきている。指導の手引を作成した。これにより指導にあたらせる。
- ④ 熱中症・プール事故の季節となったが、先日、二丈中で10名が緊急搬送されている。生徒用のテントを立てていなかった。帽子を被っていなかったことが原因として挙げられる。  
熱中症予防に向け、これも校長会で改めて指導の徹底を行った。

## 5 福岡教育事務所管内教育長会の報告

(家宇治教育長)

今回、管内教育長会は公務の都合により支障が生じたため、泊部長が代理出席していますので、部長より報告させます。

(泊教育部長)

～今回、所長会は開催されていない旨、報告。

- ・平成30年度県事業委嘱校への応援体制(案)について  
…意図的、計画的な人材育成に向けて 本市では「道徳教育推進事業」として11/6、20に志摩中学校、南風小学校を会場校として公開授業が予定されている。
- ・平成30年度学校支援訪問(経営支援訪問)実施について  
…市町教育委員会からの要請に基づき、困難な課題を抱える学校に対し、課題を明確にし、学校の教育課題及び経営課題の状況に応じて支援、指導助言を行い、学校経営の課題解決に資することを目的に実施されます。本市では、特別支援教育訪問として雷山小及び波多江小が計画されている。

- ・平成30年度中学校校務改善プロジェクト「教育事務所地区間交流研修」について

…本市では前原中及び二丈中を会場校として計画されている。

～ 配布資料に基づき報告 ～

(家宇治教育長)

ただ今の報告で何か質問はないか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

ないようですので教育長報告はこれで終了する。今回、6 付議する議案はないため会議を進行し、7 協議事項に移る。

## 7 協議事項

(家宇治教育長)

まず、平成29年度糸島市教育委員会の点検・評価に関する報告書(案)について 事務局より説明させる。

(宗 教育総務課長)

1 ㊦ 四角囲み参考に記載するとおり、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、各教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されています。この報告書は、同法第26条の規定に基づき、平成29年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して議会に提出するとともに、公表するものです。

今回は、協議事項として原案の説明を行い、委員の皆様のご意見をいただくための協議資料として配布したものです。

7 ㊦から8 ㊦ 5 点検・評価に関する学識経験者からの意見は本日以降に九州大学人間環境学研究院 教育学部門の 田上 教授にお願いする予定で、6月中旬を目途にご報告をいただくことで進めたい。従いまして、この部分空白となっており、次回以降に正式議題として皆様にお諮りし、ご承認いただいた後、議会へ報告したいと考えておりますので、その旨、ご了承ください。以下、㊦をおって概略をご説明させていただきます。

2 ㊦ 2 取組みの総括 教育委員会会議及び学校訪問等の状況でございます。教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、付議案及び懸案事項などの審議を行い、教育行政の方針等を決定しています。平成29年度は 定例会を11回 臨時会を1回 計12回開催しました。審議案件が 16件、臨時代理報告案件はありませんでした。

その他管内教育長会を受けての報告や市の教育課題の解決に向けた議題につきまして教育委員の皆様方にご議論いただきました。

学校訪問につきましては、小学校6校、中学(分校)1校の計7校を実施いたしました。4頁から6頁にかけて一覧にまとめております。

次に、9頁から11頁が施策の取組状況について記載しています。

糸島市教育振興基本計画の計28の具体的取組に対する総括として一覧に項目ごとに当初目標の達成度、また、成果と課題、今後の方向性について取りまとめたものでございます。評価の視点は3頁に記載いたしておりますとおり、それぞれについて、

A	効果が上がっている	目標に対し	100%以上の達成
B	概ね効果があがっている	同じく	80%以上100%未満の達成
C	あまり効果が上がっていない	同じく	60%以上80%未満の達成
D	改善の必要がある		60%未満

の4段階で評価を行っています。

12頁から41頁にかけて 7 計画策定時の具体的施策を添付しています。

1頁中段以降に記載しておりますとおり、糸島市教育委員会では法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と住民への説明を果たしていくため、より一層の教育委員会の充実に努めるとともに、先に策定しました第2期糸島市教育振興基本計画に定める本年度の各取組を確実に実施してまいります。

補足する部分は9頁～11頁の 6 平成29年度施策の取組状況「点検・評価シート」【平成29年度の実績】により各課長から報告します。

教育総務課では10頁 施策No.13 「学校教育施設整備の推進」普通教室に空調設備を整備する事業につきましては、国の補正予算により採択を受け平成29年度に全校の整備を完了しました。

(田中学校教育課長)

学校教育課関係は評価シート中、施策番号1～12及び21です。この中で特徴的な部分について、評価C判定以下の事業3点について説明させていただきます。

9頁 施策1「確かな学力の育成について」では、指標として全国調査(小6・中3対象)、県調査(小5・中2対象)とも達成した学校数で挙げていることもあり、結果としてD評価となっています。尚、平成29年度は理科は実施されていません。また、理科A・B区分となっていますが区分はないため、この部分削除をお願いします。

学力については最重要課題と捉えており、各学校にもしっかり力を入れてもらうため、最終年度の目標値を全区分とも全国平均・県平均値を上回った学校数が全小中学校と設定しており、結果として達成度が60%以下であったためD評価となっている。補足ではありますが市全体で比較した場合は、全国・県調査とも全ての区分で平均を上回っており、これまでの取組の成果は確実に表れてきているものと考えています。今後は取り組みに対する学校間格差を少なくするとともに学力低位層と考えられる児童生徒の割合を減らしていきたいと考えています。

施策3「個に応じた細やかな生徒指導の充実」について、不登校・いじめの問題の解決に向けた取り組みについて、全国値は毎年10月頃に発表されるた

め未発表となっています。

本市では発生率が増加傾向にあり、全国平均を超える状況が続いています。解消率については目標値を下回っているものの、全国平均より高い水準を維持する傾向が続いています。SSW派遣等により不登校の解消人数は増えているものの発生人数の増加に追いつけていない状況にあります。今後は不登校の発生率が高い学校を中心とした支援を実施していく必要があると考えており、新たに不登校対応指導員の配置を考えています。

施策7「開かれた学校づくりの推進体制の充実」について コミュニティ・スクールは予定通り全ての学校で出来ており、小学校での登下校見守り活動、中学校での社会貢献活動は定着しています。学校HPの更新については、各学校の更新状況を確認しながら定期的な更新を促していきたいと考えています。

(中庭生涯学習課課長補佐)

10歳~中段 施策14から20までが生涯学習課の所管事業です。

全体としては概ねAないしBと評価しています。

施策15「公民館活動の充実と広報」では、取組指標 公民館自主活動サークル登録数について講座受講修了生等を中心にサークル化の支援を実施し、421団体の登録となりました。(106%の達成度)

施策16「観望会の実施とボランティアの育成」について 平成28年度から観望会はボランティアへ委託し、ほぼ計画通り実施したものの、運営に注力したため新規会員獲得には至りませんでした。

施策20「福岡マラソンの開催」については、沿道応援バスの運行数と利用者数が前年までの2ルートからの運行を1ルート(東)のみで運行したことにより減少したものです。

(岡部文化課長)

施策22「文化財を活用した教育、普及活動の充実」古代史シンポジウムへの参加者数について 結果として800名の目標に対し500名の参加に留まった。内容は後日、新聞・マスコミ報道等でも一定の評価はいただいているものの、周知の方法、シンポジウムそのものの内容・構成マンネリ化も要因として考えられる。今後の開催にあたっての教訓として生かしていきたい。体験講座については目標を上回り、市民に広く歴史・文化財を楽しんでもらうことができ、体験型学習の人气が高い。と捉えています。(目標200→実績281)

施策23「指定文化財等の環境整備」新町支石墓群については平成28年度に予定通り買上げが終了しています。今後は整備活用に向けての具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。

施策24「文化財の保護・保存」糸島市指定文化財の指定については件数は伸びてはいませんが減じているものではありません、指定件数の捉え方によるものです。

(宗教育総務課長)

以上、内容が多岐に亘るため評価の特徴的な事業について説明させていただきました。

(家宇治教育長)

では、ただいまの説明で質問・意見はないか。

(徳田委員)

施策3 成果と課題、今後の方向性欄 中、不登校問題について解消人数は増えているが、発生人数の増加に追いついていない状況が見られる。今後は、不登校の発生率が高い学校を中心とした支援が必要である。と記載されており、学校だけでは限界があり、SSW 派遣等の事業と記載されているが、文中に「関係機関との連携（共同）した取組」を追加されたいかがか。

施策2 5 「文化事業の充実」中、平成 28 年度で完了したとなっているが、事業に対する市民ニーズは高く期待されている事業ではないかと考えるが、可能であれば今後の見通しについて一文加筆してはどうか。

(家宇治教育長)

事務局 2 点について如何か。

(田中学校教育課長)

関係機関との連携について追加し、文案修正を行います。

正	誤
発生率が増加傾向にあり、全国平均を超える状況が続いている。解消率については、目標値を下回っているものの、全国平均より高い水準を維持する傾向が続いている。SSW 派遣等の事業効果により解消人数は増えているが、発生人数の増加に追いついていない状況が見られる。 今後は、 <b>福祉等関係機関との連携を充実させるとともに、</b> 不登校の発生率が高い学校を中心とした支援が必要である。	発生率が増加傾向にあり、全国平均を超える状況が続いている。解消率については、目標値を下回っているものの、全国平均より高い水準を維持する傾向が続いている。SSW 派遣等の事業効果により解消人数は増えているが、発生人数の増加に追いついていない状況が見られる。 今後は、不登校の発生率が高い学校を中心とした支援が必要である。

(岡部文化課長)

ご指摘のように今後の見通しについて文案修正します。

正	誤
11 月 4 日「秋の夜長のコンサート」と題し、九州交響楽団（13 人）によるコンサートを実施。目標を上回る多数の方々に来場いただき、上質な芸術（音楽）に触れる機会を市民に提供することができた。 <b>市民からは事業の継続を求める声も多く、新たな取り組みの実施に向けて、その手法を含め検討する必要がある。</b>	11 月 4 日「秋の夜長のコンサート」と題し、九州交響楽団（13 人）によるコンサートを実施。目標を上回る多数の方々に来場いただき、上質な芸術（音楽）に触れる機会を市民に提供することができた。本事業は平成 28 年度で完了した。

(西委員)

施策7 成果と課題・今後の方向性「学校HPは市の管理下における・・・断念した。」説明をわかりやすく表記修正されては如何か。

(田中学校教育課長)

ご指摘のように文案修正します。

正	誤
コミュニティ・スクールは予定通り実施が出来ており、小学校における登下校見守り活動や中学校における社会貢献活動は定着している。今後は、保護者以外の市民に対する啓発・周知が課題となる。 <b>学校ホームページの更新については、今後、各学校の更新状況を定期的に確認しながら随時更新を促していく考えである。</b>	コミュニティ・スクールは予定通り実施が出来ており、小学校における登下校見守り活動や中学校における社会貢献活動は定着している。今後は、保護者以外の市民に対する啓発・周知が課題となる。 学校HPは市の管理下における更新システムについて見直す計画であったが、システム管理上不可能であることが判明し断念した。今後、学校教育ネットワーク環境の調査研究において再検討する考えである。

(家宇治教育長)

事務局からの説明のとおり、本日の協議を受け、知見を有する方の意見聴取の後、次回の会議以降に改めて議案審議する。本日の意見を踏まえた所要の修正を行った後、意見聴取されるようお願いする。

8 続いて報告事項に移る。

まず、中学校英語検定の進捗について報告させる。

(東定学校教育課指導主事)

～資料に基づき報告～

- ① 平成 30 年度の予算 1,000 千円、(1) 補助対象及び補助金額 1,000 円/人、② 受検種(級)別補助割合 ③ 取得率、④ 3 か年間の受検率及び取得率の推移、⑤ 考察、⑥ 平成 30 年度の取組み  
(1) 目標受験者数(500名)の設定 (2) 目標達成のための組織的な取り組みの促進

(家宇治教育長)

ただいまの報告について質疑・意見はないか。

(松尾委員)

受検率、取得率とも増加傾向にあり、評価できる。一方で、試験の難易度は上がっており、特に(3級)英作文について学校での教職員の方の英語指導について期待するものである。現状を把握して指導していただきたい。

(東定学校教育課指導主事)

中学校の定期考査の問題も含めて評価の所からしっかり考え直すことをテーマに掲げ、教科等研でも英語の先生方に発信していきたいと考えています。

(家宇治教育長)

ほかにないか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

ないようであり、会議を進行する。続いて、教職員に対する指導上の措置について報告させる。

(宗教育総務課長)

資料により報告

(家宇治教育長)

ただいまの報告について委員の皆さんから質疑・意見はないか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

ないようであり、会議を進行する。教職員の働き方改革取組指針について報告させる。

(田中学校教育課長)

配布資料に基づき報告

～ 教職員の働き方改革取組指針 ～

1 働き方改革の目的

① 職員のワーク・ライフ・バランスの取れた生活を実現し、健康でやりがいを持って働くことができる環境を整備すること

② 教職員が子どもと向き合う時間」を十分に確保し、学校教育の質を維持・向上させること

2 本市教職員の長時間勤務の現状

超過勤務時間の月平均：(小) 約68時間8分

(中) 約107時間54分

3 目標

数値目標の設定

平成30年度～平成32年度までの3年間で、超過勤務時間を20%削減

4 具体的な取組

(1) 教職員の意識改革

定時退校日の確実な実施（月2回）、学校閉庁日の設定（8月13日～15日）、学校行事等の精選

(2) 業務改善の推進

授業準備等の効率化、校内情報交換会の実施、文書事務の見直し

(3) 部活動の負担軽減

部活動休養日の拡大（原則として毎週月曜日と土日のうち1日の休養日）朝練習及び時間への配慮

(4) 教職員の役割の見直しと専門スタッフの活用等

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフの活用不登校対応指導員、部活動指導員の活用に係る検討、事務職員の職務内容の見直し、地域学校協働活動の推進

(家宇治教育長)

ただいまの報告について委員の皆さんから質疑・意見はないか。

(徳田委員)

今回、ガイドラインが作成されたことにより、ある程度の歯止めがかかることが期待されるが現状は厳しい面もあり、形骸化しないためにも教職員に対する指導の徹底をお願いします。

(家宇治教育長)

次週予定する小中校長会で説明し、進めていく予定である。

他にないか。

(委員全員)

なし。

続いて、各課業務の主な取組み状況と課題について 報告をお願いします。

(宗教育総務課長)

教育委員会会議日程の確認

※次回、教育委員会会議日程については**6月28日(木)に変更。**

(田中学校教育課長)

・5月事業経過と6月の予定

(中庭生涯学習課課長補佐)

・5月事業経過と6月の予定について

(岡部文化課長)

・平成30年5月文化課報告（文化・図書館係関係）

(角 企画監)

・平成30年5月文化財係、博物館係入館状況及び企画展等の予定

(家宇治教育長)

ただ今の報告について、質問等はないか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

ほかはないか、特になければ以上で、各課業務の主な取組み状況と課題について報告を終る。

次に ②教育委員の皆さんから何か意見等ないか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

ほかはないか、なければ ③ その他に移る。

③ その他 特になし

## 9 次回会議

(家宇治教育長)

今回は6月28日の開催とする。時間等は改めてお知らせする。

10 閉 会                    委員会閉会を宣言                    14時25分

\* 会議終了後、教育委員研修会を実施する。

糸島市教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、ここに署名する。

教育長

委員

(委員長指名委員)